

施策評価(平成30年度)

1 基本項目

基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち
基本施策	1	未来につなぐ環境都市の実現
施策	24	都市環境
基本方針		
自然と都市が調和し、地球にやさしい、スマートなまちを目指します。		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
多様な主体と協働した環境活動の推進	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
公共施設などの低炭素化の促進	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
低炭素化設備などの普及促進	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

3 施策評価の結果

<p>施策24「都市環境」では、3事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、すべて「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>本施策の基本方針は、「自然と都市が調和し、地球にやさしい、スマートなまちを目指す」ことであり、「多様な主体と協働した環境活動の推進」においては、環境学習などの面において充実した活動を実施したことや、「公共施設などの低炭素化の促進」では、AZEMS(エイゼムス)の普及啓発やLED街路灯への交換・新規設置や、公用自動車の電気自動車への更新等環境配慮に係る事業に取り組むなど、施策に掲げた基本方針の達成に向けて、着実な推進が図られているものと評価する。</p>

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	産業環境部			環境保全課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 多様な主体と協働した環境活動の推進		年	期間設定10年	自治事務(市独自)		○
01	環境教室等(講師謝礼)【再掲】	不明	年	期間設定10年	自治事務(市独自)	直営
02	環境フェスティバル事業助成金【再掲】	平成24年	年	期間設定10年	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成
03	羽村×八丈エコ教室実行委員会補助金【再掲】	平成26年	年	期間設定10年	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	24	都市環境	管理No.	125

2.事業の概要

施策の基本方針	自然と都市が調和し、地球にやさしい、スマートなまちを目指します。
事業内容	環境活動の機会を創出し、一層の環境活動の活性化を図るとともに、環境フェスティバルやエコ教室などの体験型環境保全活動や環境学習の充実に取り組みます。
根拠法令	環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律
条例	羽村市環境基本条例
要綱等	環境とみどりの基本計画～環境・みどり・生物多様性を包括的に進めるはむらプラン～

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	水辺観察会 1回	同左	同左	同左
	みどりの環境教室 1回	同左	同左	同左
	エコネットはむら協働体験型環境保全活動1回	同左	同左	同左
	環境フェスティバル参加者数 3,800人	同左 参加者目標数 3,800人	同左 参加者目標数 3,800人	同左 参加者目標数 3,800人
	羽村×八丈エコ教室参加者数 30人	同左 参加者目標数 31人	同左 参加者目標数 31人	同左 参加者目標数 31人
	オール東京62市区町村共同事業エコプロダクツ出展			

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	510 H	2人	476 H	2人	476 H	2人	476 H
主事・主任職	2人	387 H	2人	369 H	2人	369 H	2人	369 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	7,160	6,940	6,940	6,940
人件費(係長職)	5,071	4,733	4,733	4,733
人件費(主任・主事職)	2,577	2,457	2,457	2,457
総事業費(合計)	14,808	14,130	14,130	14,130
国庫支出金				
都支出金	20	770	20	20
受益者負担額				
その他特定財源	4,012	3,912	3,912	3,912
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	10,776	9,448	10,198	10,198
財源内訳(合計)	14,808	14,130	14,130	14,130

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

水辺観察会は7月、みどりの環境教室は3月に市民及び他団体との協働により実施したほか、エコネットはむらとの協働体験型環境保全活動を行った。

第7回環境フェスティバルは「育てよう！エコの木(気)」をテーマに、市民、事業者及び行政部会からなる実行委員会形式で、6月に実施した。

羽村×八丈エコ教室は、八丈町及び特定非営利活動法人八丈島産業育成会とともに実行委員会を組織し、事前学習、八丈島における体験学習を7月、8月に実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	6,940		6,940	6,362	91.7%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	476 H	2人	510 H
主事・主任職	2人	369 H	2人	387 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○水辺観察会 1回 ○みどりの環境教室 1回 ○エコネットはむら協働体験型環境保全活動 1回 ○環境フェスティバル参加者数 3,800人 ○羽村×八丈エコ教室参加者数 31人		○水辺観察会 1回 ○みどりの環境教室 1回 ○エコネットはむら協働体験型環境保全活動 1回 ○環境フェスティバル参加者数 3,500人 ○羽村×八丈エコ教室参加者数 29人

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

環境保全活動の推進に当たり、環境フェスティバルや八丈×エコ教室の実施において、東京都、八丈町等の自治体との連携をはじめ、特定非営利活動法人八丈島産業育成会と密接な関係を構築しているほか、その他の事業も含め、環境学習などの面において充実した活動内容となっている。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

環境フェスティバルについては、市内の事業者において環境問題に積極的な取組みを行っている団体等の出展を働きかける。羽村×八丈エコ教室は、連携組織の強化のため、現行の八丈島に加え羽村市等での学習を実施する。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署		産業環境部			環境保全課	
事業名		開始年度		実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 公共施設などの低炭素化の促進		平成	25年	期間設定10年	自治事務(市独自)	その他		
01	街路照明施設改修工事	平成	26年	期間設定5年	自治事務(市独自)	その他		
02	環境マネジメント(統合実行計画)	平成	25年	期間設定10年	自治事務(市独自)	その他		
03	公用自動車更新	平成	30年	その他	自治事務(市独自)	直営		
04			年					
05			年					
関連課		土木課、施設及び設備所管課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	24	都市環境		管理No.	126	

2.事業の概要

施策の基本方針	自然と都市が調和し、地球にやさしい、スマートなまちを目指します。
事業内容	羽村市公共施設等総合管理計画に沿った改修工事に合わせ、太陽光発電設備などを導入し、公共施設の低炭素化を推進するとともに、AZEMS(エイゼムス)などのスマート交通システムの普及啓発に取り組みます。また、街路灯については、既設の水銀灯および蛍光灯からLEDランプなどへ交換を進め、より一層の省エネルギー化に取り組みます。
根拠法令	エネルギーの使用の合理化等に関する法律、地球温暖化対策の推進に関する法律、その他
条例	羽村市環境基本条例
要綱等	羽村市エネルギー使用の合理化及び地球温暖化対策統合実行計画、その他

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	AZEMSプロジェクト効果検証・普及啓発	同左	同左	同左
	導入済み太陽光発電システム等の効果検証	同左	同左	同左
	太陽光発電システム等の設置場所の検討	同左	同左	同左
	統合実行計画グリーン調達判断基準に基づく公用車の更新	同左	同左	同左
	公用電気自動車への更新1台			
	街路灯補修・取替・設置 取替(LED) 510基 新設(LED) 3基	同左 同左 20基 5基	同左 262基 5基	同左 262基 5基
統合実行計画に基づく再生可能エネルギー利用設備の導入検討	同左	同左	同左	

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	288 H	1人	288 H	1人	288 H	1人	288 H
主事・主任職	1人	320 H	1人	320 H	1人	320 H	1人	320 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	50,106	8,909	29,493	29,493
人件費(係長職)	1,432	1,432	1,432	1,432
人件費(主任・主事職)	1,066	1,066	1,066	1,066
総事業費(合計)	52,604	11,407	31,991	31,991
国庫支出金				
都支出金	234	250	250	250
受益者負担額				
その他特定財源	15,000	2,800		
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	37,370	8,357	31,741	31,741
財源内訳(合計)	52,604	11,407	31,991	31,991

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

AZEMSプロジェクトの太陽光発電量及びCO2フリー充電状況、小中学校へ導入した太陽光発電及び蓄電池の設備利用状況、統合実行計画に係る実績について集計及び分析を実施するとともに、機器、設備及び建築物更新時におけるグリーン調達判断基準に基づく省エネ化を図った。
 公用車の電気自動車への更新を1台実施した。
 LED街路灯について、13基の取替、5基の新設を行い、合計18基をLED化した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	8,909	835	9,744	9,261	95.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	288 H	1人	288 H
主事・主任職	1人	320 H	1人	320 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○AZEMSプロジェクト効果検証・普及啓発 ○導入済み太陽光発電システム等の効果検証・設置場所の検討 ○統合実行計画グリーン調達判断基準に基づく公用車の更新・公用電気自動車への更新 1台 ○街路灯取替(LED) 20基、新設(LED) 5基 ○統合実行計画に基づく再生可能エネルギー利用設備の導入検討		○AZEMSプロジェクト効果検証・普及啓発 ○導入済み太陽光発電システム等の効果検証・設置場所の検討 ○統合実行計画グリーン調達判断基準に基づく公用車の更新・公用電気自動車への更新 1台 ○街路灯取替(LED) 13基、新設(LED) 5基 ○統合実行計画に基づく再生可能エネルギー利用設備の導入検討

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

AZEMS(エイゼムス)の普及啓発やLED街路灯への交換・新規設置や、公用自動車の電気自動車への更新等環境配慮に係る取組みの推進を図ることで、より一層の省エネルギー化に取り組んだ。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

公共施設の低炭素化を推進するとともに、AZEMSなどの普及啓発、街路灯のLED化等、より一層の省エネルギー化に取り組む。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署		産業環境部		環境保全課	
事業名		開始年度		実施期間		事業種別	
00 低炭素化設備などの普及促進		平成 21 年		その他		自治事務(市独自) 施行者への補助・助成	
01	中小企業環境配慮事業資金融資(保証料補助及び利子補給)	平成 21 年	継続	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成		
02	住宅用省エネ工事等助成金(創省エネルギー化助成)	平成 23 年	期間設定3年	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成		
03	リユース食器貸出事業	平成 22 年	その他	自治事務(市独自)	施行者への補助・助成		
04		年					
05		年					
関連課		産業振興課					
基本目標4		ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分		24 都市環境	
				管理No.		127	

2.事業の概要

施策の基本方針	自然と都市が調和し、地球にやさしい、スマートなまちを目指します。
事業内容	助成制度や中小企業への融資制度などにより、低炭素化に資する設備などの普及促進を図ります。
根拠法令	エネルギーの使用の合理化等に関する法律、地球温暖化対策の推進に関する法律、その他
条例	羽村市環境基本条例、羽村市中小企業振興及び環境配慮資金融資条例
要綱等	羽村市エネルギー使用の合理化及び地球温暖化対策統合実行計画、その他

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	中小企業振興資金融資条例改正による環境配慮事業資金融資4件(新規1件) 創省エネルギー化助成(改正) 60件 リユース食器貸出事業 60,000個	同左 同左 同左 53,000個	同左 同左 助成制度見直し検討 同左 60,000個	同左 創省エネルギー化助成(新制度) 同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	196 H	2人	196 H	2人	196 H	2人	196 H
主事・主任職	2人	208 H	2人	208 H	2人	208 H	2人	208 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	24,180	22,176	22,176	22,176
人件費(係長職)	1,949	1,949	1,949	1,949
人件費(主任・主事職)	1,385	1,385	1,385	1,385
総事業費(合計)	27,514	25,510	25,510	25,510
国庫支出金	464	489	489	489
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源	1,000	1,000	1,000	1,000
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	26,050	24,021	24,021	24,021
財源内訳(合計)	27,514	25,510	25,510	25,510

③コスト計算

ア 市民 55,710 人における1人あたりのコストは、 458 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 円 のコストは 円

※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

中小企業振興資金及び環境配慮資金融資制度について周知を行った。平成30年度中に1件償還したため、年度末時点での融資件数は2件となっている。
 創省エネルギー化助成制度について周知を行い、44件、4,100千円の実績となった。助成件数は計画値に達していないが、申請額は9月に予算額に達している。
 リユース食器については、貸出周知を行うとともに、オール東京62区市町村共同事業助成金の申請、リユース食器貸出事業の運営団体への補助金交付を行い、86件、51,900個の食器を貸し出した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	22,176		22,176	22,089	99.6%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	196 H	2人	196 H
主事・主任職	2人	208 H	2人	208 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○中小企業環境配慮事業資金融資 4件(新規 1件)	○中小企業環境配慮事業資金融資 2件(新規0件)
○創省エネルギー化助成 60件	○創省エネルギー化助成 44件
○リユース食器貸出事業 53,000個	○リユース食器貸出事業 51,900個

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input checked="" type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

環境配慮事業資金融資や創省エネルギー化助成等の事業を継続して実施することにより、市域におけるエネルギー消費量の削減に寄与した。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

今後は、市域の状況の推移に応じて、市域の最大課題である産業分野の低炭素化及び省エネ化について対策の強化を検討する。